



感謝の気持ちをお届けしました

地域の高齢者のかたに年賀状を送りました

12月下旬、福間中学校の生徒たちが日ごろお世話になっている地域の高齢者のかたがたに、感謝の気持ちを込めて年賀状を送りました。

この年賀状は、「福招き年賀状大作戦」として福間中学校生徒会が中心となり、オリジナルグッズの販売や募金活動で得られた資金で年賀はがきを購入し、生徒が一枚一枚手書きで作成したもので、市役所を通じて福間中学校区にお住まいの独居高齢者のかたがたへ発送しました。中学校には温かいメッセージが添えられた返事が多数届いており、生徒は年賀状を通じた地域との交流を実感しています。



▲小山市長が預かった年賀状は市役所を通して発送しました

新成人の門出を祝って

平成26年度福津市成人式がありました



▲今年の新成人は平成6年4月から平成7年3月出生の人たちです

1月11日、市中央公民館で成人式があり、艶やかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人およそ550人が出席しました。

実行委員長のあいさつの後、小山市長から「これまで皆さんを見守り、力になってくださったかたがたに感謝の気持ちを持ち、『思いやりのある心』を自らの言動で示してください」との祝辞が送されました。

かつての恩師が壇上に登場すると、会場から大きな歓声が上がる一幕も。校区ごとの記念撮影やビンゴゲームなども行われ、新成人たちはかつての旧友との再会を楽しんでいました。



▲5連覇を果たした原町Aチームの村岡晴也さん

新成人の門出を祝いました

第10回福津市成人祝賀駅伝競走大会開催

第10回福津市成人祝賀駅伝競走大会が1月11日に開催され、津屋崎小学校をスタート・ゴールとするおよそ21キロのコースで54チームが健脚を競いました。折からの強風に苦しい走りを強いられる中、原町Aチームが1時間8分56秒という大会新記録で優勝。見事5連覇を果たしました。

【総合順位】上位のみ

1位	原町A
2位	花見区A
3位	若木台Aチーム
4位	原町B
5位	桜川A
6位	キューヘンA
7位	大和一区A
8位	上西郷West kids
9位	緑町
10位	らぶ&ぴーす

【躍進賞】福津市役所A、本木

【区間賞】敬称略、★は区間新記録

第1区	米倉慎悟★ (原町A)
第2区	橋本健矢★ (原町A)
第3区	米倉光祐★ (原町A)
第4区	橋本和弥 (原町A)
第5区	田村幸大 (花見区A)
第6区	井田真太郎 (若木台Aチーム)

市民広報
ボランティア

救急心肺蘇生法講習会



12月20日、花見区公民館で花見1・2区福祉会主催の救急心肺蘇生法講習会があり、古野内科のご協力で院長先生と産業医科大学の学生さんによる救急処置の仕方を教授していただきました。

心肺停止のかたをいかに早く蘇生させるか、人の命を救うのがどれだけ大変かがよく分かりました。人型模型での人工呼吸、両手で1分間に100回の胸部圧迫は、汗をかくほど力が入ります。AEDの使い方も簡単ではありません。救急車が到着するまでの間、一時も気を緩められません。人命の大切さがよく分かりました。【徳永孝志】

餅つき大会



12月13日、上西郷小学校で毎年恒例の餅つき大会が開催されました。天候に恵まれなかった今回は、中廊下で餅をつきました。早朝から上西郷郷づくりのメンバーや学校の先生、保護者のかたたちが準備に追われています。つき上がった餅は体育館へ運ばれ、中学生やお母さんたちの手でんこ餅やきな粉餅に。出来立ての餅に子どもたちは大喜びです。家族そろって食べたり、友達同士で食べたり。おいしい物の前では皆いい笑顔になります。いきいきとした子どもたちを見ていると元気をもらえそうです。【福崎信一】

イルミネーション点灯式



12月13日、朝早くから勝浦小学校と勝浦公民館の広場には、勝浦郷づくりのかたがたによりスタードームやイルミネーションの飾り付けが行われました。昼過ぎからは勝浦アンビシャス広場による楽しい催し物が行われたり、温かい食べ物や飲み物が振る舞われたりしました。

午後5時。校長先生のカウントダウンで明かりが一斉にともると、観衆から拍手が起きました。点灯後、勝浦小4年生によるトーンチャイムの演奏が行われ、寒い冬の夜に柔らかく美しいハーモニーが優しく響いていました。

【中山和恵】

福間浦玉せり



1月3日に福間海岸などで行われる「玉せり」は、旧福間浦の南町と緑町に古くから伝わる伝統行事です。海の神である和田津美神社に集い、おはらいを受けた締め込み姿の男衆が、海で清められた大玉を先頭に威勢のいい掛け声と共に1キロ先の諏訪神社を参拝します。大盃に注がれた神酒を次々と回し飲みした後、神前で競りを奉納しました。その後、福間海岸へ向かった男衆は、気温6度、水温8度の寒気の中、砂浜や海の中で勇ましく玉を競り合いました。

【山本武利】



長年の功績をたたえて
感謝状が贈呈されました



▲小山市長から感謝状を贈呈された山形四郎さん

1月20日、山形四郎さん(宮司3区)の長年にわたる芸術・文化分野の功労に対して感謝の意を表し、小山市長から感謝状が贈呈されました。

山形さんは陶芸や和歌、茶道、絵画など幅広い分野において、一般市民向けの体験教室などを開催する傍ら、指導者の育成に努めるなど、地域文化の振興や市民の文化意識高揚に大きく貢献。また、旧津屋崎町文化協会、福津市文化協会の設立にも献身的に取り組み、現在の市文化協会の基礎を築かれました。

90歳を超えた現在でも週2回ほど陶芸教室に通うなど、現役の文化人として活動されています。

まちを守る決意を新たに
消防出初式が開催されました



▲団旗を掲げる福津市消防団

1月12日、県消防学校に福津・宗像の消防関係者が集まり、宗像地区消防出初式が開催されました。消防関係者約400人の参加に加え、約200人の市民が訪れた式典では、地域防災の重要性の再確認や、これまでに多大な貢献をしてきた消防団員への表彰が行われました。

また、訓練展示も行われ、消防団の日ごろの活動の成果を披露する小隊訓練や、祝賀操法、また、消防団と宗像消防署の隊員が放水技術を披露する祝賀放水が行われました。はしご車などの消防車両や救急車の展示、乗車体験も行われ、災害への備えを市民に知つてもらう機会にもなりました。

畦町の歴史と故郷の思い出が一冊の本に
『畦町物語』が刊行されました

12月17日、唐津街道畦町宿保存会の皆さんが編集した『畦町物語』が刊行されました。

畦町の歴史や故郷の思い出について、写真や版画を交えながら分かりやすくまとめた本誌は、「福津市住みよいまちづくり推進企画活動支援事業」の助成を受けて800部作製されました。

公共施設や保存会会員、畦町区の住民に配布したほか、400円で販売もしています。購入を希望するかたは唐津街道畦町宿保存会岩熊さん(☎080-9244-5128)までご連絡ください。



▲表紙は田中時彦さんの優しい童画です

皆さんに未永く愛される縁起物となることを願って
“福珠のモマ”を制作・販売しました



▲モマの愛らしい姿に思わず笑みがこぼれます

福津の極みに認定された4事業所(筑前津屋崎人形巧房、有限会社マルティグラス、陶芸工房夢かしこ、花祭窯)が、1月4日~5日にかけて宮地嶽神社の境内で“福珠のモマ”を販売しました。

“福珠のモマ”は市内に伝わる福を招くモマ(フクロウ)の言い伝えを元に、商売繁盛・開運招福・家内安全など、皆さんに愛される縁起物になるよう心を込めて制作したものです。

それぞれの事業者によって全く違った表情を見せるモマ。参拝に訪れた人は、愛らしいモマの姿に足を止めてお気に入りの一品を選んでいました。

**市民広報
ボランティア**

福間中学校2年生と真剣対話!

トーク・フォーカダンスが開催されました



▲互いに向き合って本気で語り合いました

1月17日、福間中学校でトーク・フォーカダンスが開催されました。3回目の開催となった今回は、福間中学校の2年生に加えて地域に住む大人や市外からの参加も合わせて、400人を超える参加者が集まりました。

トーク・フォーカダンスは、中学生と大人がフォーカダンスのように輪になって、相手を交代しながら与えられたテーマに沿って語り合う場です。大人たちは初恋の体験談を話すなど、これまでの経験をもとに中学生に思いを伝える一方で、中学生も柔軟な思考で大人をはっとさせるような意見を語り、違う世代の間で交流を深めていました。

「ゾーン30」を守ろう！



原町周辺道路の「ゾーン30」という交通規制対策をご存じですか。およそ3年前に地域で死亡事故があり、その対策として最高速度時速30キロで走行しようとドライバーに喚起したのが始まりです。しかしあまり守られていないため、原町一区自治会長の野上さんを中心に原町連合会などの皆さんのが、昨年から啓発推進に奮起されています。

規制を知らせるのぼりや道路表示を増やした結果、住民から「車のスピードが緩やかになった」との声も。野上さんは「地域を守る活動が、町全体の絆を築くきっかけになれば」と熱い願いを語ってくださいました。【櫻井紀子】

第1回ふれあいサロン
『大人の為のお話し会』



1月18日、上西郷小学校で第1回ふれあいサロン「大人の為のお話し会」が開催され、地域のかたが多数参加されました。

たんぽぽ語りの会の皆さんによるわらべうた“ちゃわんむし”“福間の又ゼー”ほか3話の昔話や、“金色夜叉”“うなぎにきいて”の紙芝居など、方言を交えた表現力豊かなお話を会場いっぱいに響きました。昔話の魅力や温かさに触れて、楽しい時間を過ごすことができました。

【有吉敏高】

こと
新春箏・尺八コンサート



1月10日、新春にふさわしい箏・尺八の演奏会が津屋崎千軒なごみで開かれました。

琴・尺八・三味線で「八千代獅子」、琴・尺八で「泉」、琴のみで「お江戸日本橋」「通りゃんせ」「荒城の月」が演奏され、観客も一緒に歌いました。最後に名曲「春の海」を琴と尺八で奏で、終了となりました。

観客も多く立ち見の人も出るほどの盛況となり、皆さん新春を存分に楽しんでいました。

【吉村邦夫】

小・中学校で防災教育に



福津市は平成24年度から
福岡県重点課題研究指定・委
嘱を受け、津屋崎中学校区を
モデルとして「自らの命を守
り抜く児童生徒の育成」を目
標し、防災教育の取り組みを

校の全クラスで公開授業が行われ、子ども見守り隊や各郷づくり推進協議会などをはじめとする地域のかたや、防災士・消防士などの各専門家にゲストティー

広報ふくつ

公民館と集会所の違いについて

ヘンネーレ シリハガイエヒわん

ください。また、これらに対する市から
の補助や関わりなどの違いも教えてください。

● 公民館は社会教育施設であり、社会教育や生涯学習を推進するための中心施設です。市内には公立公民館として市中央公民館・津屋崎公民館・宮司公民館・勝浦公民館の4館を設置しており、この4施設に関しては市が維持・管理を行っています。

その他の公民館として、運営を町内会・自治会が担っている「自治公民館(公民館類似施設)」があります。この自治公民館は市内に59カ所あります
が、その運営に関しては、ある一定の区域の地域住民のかたのもとで設置・管理が行われています。

集会所に関しては、公営住宅など
で設置されている例がありますが、

たで運営されている施設（公民館類似施設）に含まれるものとして考えています。

自治公民館に関しては、自治公民館長・主事のかたを対象に、年3回自治公民館長・主事研修を開催し、講師を招いての研修・相互情報交換を行っています。

また、この公民館類似施設の整備に関しては、「公民館類似施設の新築及び増改築等に対する補助金」制度のもと、地域を支援し施設の充実を図るため、施設の新築および増改築などに対して事業費の一部を補助しています。補助の額は、限度額は設定されていますが、現在は事業費の75パーセントです。

問い合わせ 市中央公民館

An illustration of an open envelope containing several hearts of different sizes and shades of gray, suggesting love or affection.

おたより寄せちゃってんしゃれい

お便りを
送ってください

自由投稿コーナー「聞いちゃってんしゃい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしています。

きりとり
POST CARD

福津市役所広報秘書課
広報広聴係 行

点線に沿って切り抜き、
必要事項を書いて、
必ず切手を貼って
投稿してください。

平成26年9月6日には津屋崎中学校区において防災・避難訓練を実施しました。校区内の小・中学校と郷づくり推進協議会、自治会、消防、市が連携して行った初めての取り組みで、地域の住民およそ1700人が参加しました。

朝、登校途中に地震が発生したと想定した訓練で、子どもたちと一緒に地域の大人たちも第一次避難所へ避難し、その後、子どもたちは安全を確保しながらそれぞれの学校まで団体登校して、応急手当の仕方などを学ぶ防災学習を受けました。

平成26年11月21日には津屋崎小学校と津屋崎中学校で、福岡県重点課題研究指定・委嘱防災教育最終報告会を開催しました。

報告会では、小学校・中学

チヤーとして参加していました。

広報ふくつ